

てんかん診療支援コーディネーターの 活動と課題

～2022年度活動の振り返りから～



大阪大学医学部附属病院てんかんセンター
てんかん診療支援コーディネーター社会福祉士
八野美智子

大阪大学医学部附属病院てんかんセンター 大阪府てんかん地域診療連携体制整備事業

- 当センターは大阪府のてんかん支援拠点病院・包括的てんかん専門医療施設であり、その役割としては、てんかんの診断・他の病態との鑑別、難治性てんかんの治療、てんかん発作のビデオ脳波・画像診断、手術や食事療法を行っています
- 大阪府はてんかん地域診療体制拠点事業に参加している都道府県の中では唯一僻地がなく、人口が密集している地域です。
- てんかん診療をされる医療施設が点在している大阪府では、各方面への啓発活動、教育、患者の立場での診療情報と病院間ネットワーク形成を主な事業としています



大阪府下のてんかん診療病院検索

大阪府下のてんかん診療病院検索

対象年齢	<input type="checkbox"/> 小児 <input type="checkbox"/> 思春期 <input type="checkbox"/> 成人 <input type="checkbox"/> 高齢者
合併症	<input type="checkbox"/> 精神疾患 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 身体障害・医療的ケアを要する患者
医療機能	<input type="checkbox"/> 安定した患者さんにおけるてんかんのプライマリケア（日常の診療・処方） <input type="checkbox"/> てんかんの診断 <input type="checkbox"/> 薬量調整 <input type="checkbox"/> 脳波による診断 <input type="checkbox"/> MRIによる診断 <input type="checkbox"/> 発作時ビデオ脳波モニタリングによる診断 <input type="checkbox"/> てんかんの外科治療 <input type="checkbox"/> 複数の診療科による集学的治療 <input type="checkbox"/> てんかん発作重積時の救急対応 <input type="checkbox"/> てんかん患者の妊婦に関する説明・対応 <input type="checkbox"/> 自動車運転免許の診断書作成 <input type="checkbox"/> ビガバトリン処方 <input type="checkbox"/> てんかん食事療法 <input type="checkbox"/> 迷走神経刺激装置調整
自院でできる検査	<input type="checkbox"/> 血液検査 <input type="checkbox"/> 抗てんかん薬血中濃度 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 脳波計 <input type="checkbox"/> ビデオ脳波モニタリング <input type="checkbox"/> CT <input type="checkbox"/> MRI <input type="checkbox"/> SPECT <input type="checkbox"/> PET <input type="checkbox"/> 遠隔診療システム
他院からの依頼を受け付けている検査	<input type="checkbox"/> CT <input type="checkbox"/> MRI <input type="checkbox"/> EEG
キーワード	<input type="text"/> <input checked="" type="radio"/> すべてを含む <input type="radio"/> いずれかを含む

145施設が登録

“大阪てんかん Net”システム

 nanacara for Doctor

- ワンタイムパスワード
- 患者一覧
- お知らせ (07/10更新)
- お知らせ (大阪府限定) !
- お問い合わせ
- お知らせ管理

お知らせ

2023-07-10 14:01:15
大阪府てんかん診療施設検索サイトへの登録のお願い

2023-07-10 13:53:09
セミナーのお知らせ

2023-02-09 12:20:46
 大阪大学てんかんセンターセミナーのご案内

2022-10-05 09:28:19
Epilepsy Expert meetingのご案内

てんかん診療支援コーディネーターの業務

- てんかん患者およびその家族への専門的な相談支援および助言
- 管内の連携医療機関等への助言・指導
- 関係機関（精神保健福祉センター、管内の医療機関、保健所、市町村、福祉事務所、公共職業安定所等）との連携・調整
- 医療従事者、関係機関職員、てんかん患者およびその家族等に対する研修の実施
- てんかん患者およびその家族、地域住民等への普及発活動

実際業務としては・・・

昨年度からの配置であり、相談支援および助言が業務の中心

毎月の多職種症例検討会参加

関係機関大阪府との連絡協議会参加

研修・セミナー実施にあたっての広報活動

2022年度 相談対応実績

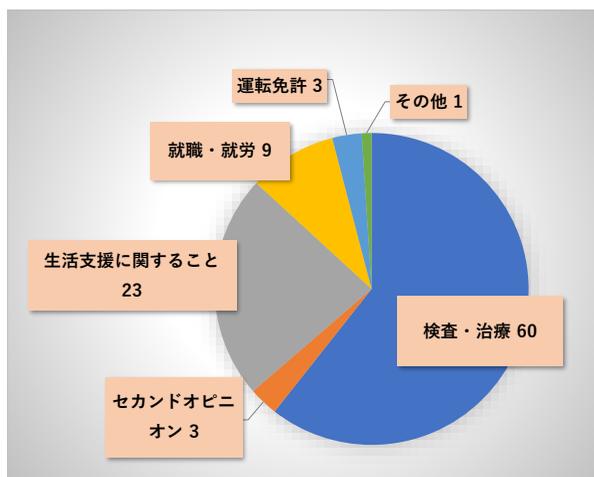
◆患者・家族からの相談件数

	本人	家族	医療機関	関係機関	その他	計
面接	24	12				36
電話	5	12	8	10		35
メール	1					1
その他※	4	5			1	10
計	30	29	8	10	1	82

- 患者包括サポートセンターの医療相談窓口での面接対応
- 電話相談
- てんかんセンターHPの相談フォーム※

相談内容

- 検査・治療に関すること
- 生活支援…社会資源の情報提供
- 就職・就労…職場の理解を得るために
- 運転免許
- セカンドオピニオン



てんかんセンターご相談フォーム

大阪大学医学部附属病院
てんかんセンター

ご相談フォーム

てんかんのあるご本人・ご家族、一般および医療関係の方からの、てんかんの診療や支援に関するご相談には当フォームをご利用ください。

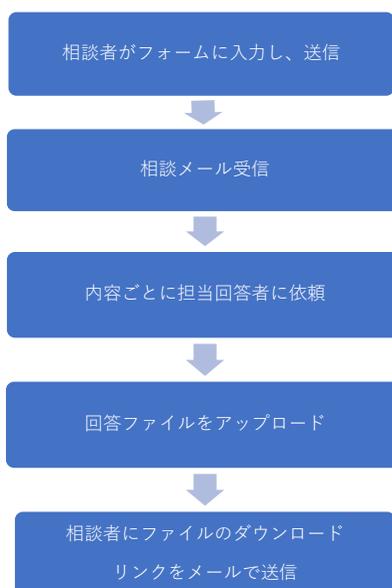
ご相談フォーム記入ページ



A screenshot of a web form titled "ご相談フォーム" (Consultation Form). The form contains several sections with text and input fields, including a header with a pink background and a main body with multiple paragraphs of text and form elements.



A screenshot of a web form titled "お問い合わせ" (Inquiry). The form contains several sections with text and input fields, including a header with a pink background and a main body with multiple paragraphs of text and form elements.



対応の流れ

フォームからの相談を受信後に、各担当に回答を依頼し、相談者にファイルで返信



相談フォームから

- 実際に受診している方、ご家族から、検査・治療に関する相談、遠方からの相談
→セカンドオピニオン、どの医療機関を受診すればいいのか
- まだてんかんと診断されていない方
→この症状はてんかんなのか
- 自動車運転ができるかどうか、免許の更新など
→発作がなく近年は受診していない

セミナー実施にあたっての広報

セミナーの告知チラシの作成
関係機関へ配布手配



大阪大学医学部附属病院てんかんセンターとは

- てんかんに関わる診療科・診療部門が連携した包括的かつ円滑な診療と、国内トップレベルの教育・研究を行うことを目的として開設された、大阪府のてんかん支援拠点病院・包括的てんかん専門医療施設です
- てんかん診療支援コーディネーターとして診察室では行えない支援を行う必要があると考えます



相談事例

50代 男性

脳炎からてんかん発症

当院脳神経外科でてんかん治療されていたが、高次脳機能障害をきたし、就労が困難となった

精神保健福祉手帳を取得し、障がい者雇用枠での就労を目指す

当院神経科精神科受診ー精神保健福祉手帳取得

高次脳機能障害のリハビリテーション施設、クリニックに通う

今後の課題

- ◆ てんかんセンターにおける診療支援コーディネーターとして
 - ・現状は患者包括サポートセンターの一員として、脳神経外科の患者さんを中心に対応
 - ・複数診療科にかかる方の各科連携の支援が必要
脳神経外科にかかっている方に、精神症状が見られる場合は精神科・神経科の受診が必要になるが、受診の頻度、労力を考えると近隣の医療機関へ行っていただくことになるため、地域の医療機関との連携も必要 どのような形で連携していくのか
 - ・他機関との連携、普及啓発のための活動

課題改善案

- ・現在の多職種症例検討会のほかに社会的な課題を持つ患者や複数の診療科にかかっている患者を対象としたカンファレンスの開催
- ・当院から地域の医療機関への紹介時に診療情報提供書を渡すだけでなく、受診前に連絡し、情報共有しておく
- ・セミナーの案内送付先を医療機関だけでなく、内容によっては関係機関にも案内する。患者、家族についてはHPを活用しての情報提供を考えていく

今年度の取組み

- 大阪府てんかん治療医療連協議会において

てんかん診療コーディネーターの連携を図る

事例の共有

地域情報の交換

